

事業名	旧軍人遺族等援護費			調書番号	25
細事業名	遺族会活動推進事業費補助金	財務コード	169906		
担当部課室	福祉保健 部	国保援護 課	援護恩給 担当 (内線)	3118	

I 事業の概要

実施期間	始期 S37 年度 ~ 終期 年度		
実施主体			
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	戦没者の遺族 県民一般	戦没者慰霊と遺族の慰藉を図る各事業に積極的に参加	遺族会員を中心として、戦争の悲惨さと平和の尊さについて地域への意識の向上と啓発を行う
内容	戦没者の慰霊、戦没者遺族の慰藉のため、戦没者の遺族を会員とする山梨県遺族会が以下の事業を円滑に推進するため、補助金を交付し事業を実施した。		
	○補助対象事業 ① 千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式参列遺族助成事業 厚生労働省主催の千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式に遺族代表が参列 (H30.5.28 10名参列) ② 山梨県遺族会女性部大会事業 平和維持活動の促進を目的として、女性部組織の拡充強化を図るため、女性部大会を開催(H30.12.18 161名参加) ③ 山梨県遺族会県下戦没者遺族大会事業 戦没者の慰霊、遺族の慰藉、遺族運動の現況確認等県下戦没者遺族大会を開催(H30.9.26 680名参加) ○補助金額 2,005,000円 ○補助率 1/2以内		
根拠法令等			

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式参加者	目標 1,410	1,710.0	1,410.0	1,210.0	880.0	880.0	880.0
	遺族会女性部大会参加者	実績(見込) 1,395	1,610.0	1,195.0	1,035.0	851.0	880.0	
	遺族大会参加者	達成率 98.9	94.2	84.8	85.5	96.7	100.0	
		達成区分 b	b	b	b	b	b	
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算)単位:千円		2,239	2,239	2,239	2,239	2,005	2,005	2,005

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	戦没者の慰霊、戦没者遺族の慰藉のため、多くの参加者のもと県下戦没者遺族大会などの事業を実施した。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	遺族の高齢化の中で、会員数は減少しているものの参加者を確実に確保し、事業を着実に実施し現状を維持していく。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明	戦没者の慰霊、遺族への慰藉については、継続して実施していく必要があるため。		
見直しの必要性	無	平成30年度から各地区ごとで実施していた遺族大会を県大会に集約して実施し、県補助金についても見直しを行っているため。		

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	平成30年度に見直しを行っており、今後もこれまでどおりの事業の実施が見込まれるため。
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。